

酸っぱい物、酢、バターやチーズ、パンを好みます。コーヒーは人によって好転したり悪化したりします。甘い物、アルコール、フルーツで感情的に悪化します。

## RELATIONS

- ・ Ignatia は、悲しみに関しては深く作用するレメディではありません。
- ・ Natrum muriaticum や Sepia の complementary remedy になります。

- ・ Antidoted by : Pulsatilla, Arnica, Camphora, Chamomilla, Coccus, Coffea
- ・ It antidotes : Selenium, Zincum, Pulsatilla, コーヒー, ブランデー, タバコ, カモミールティー
- ・ Compatible : Arsenicum album, Belladonna, Calcarea carbonica, China, Lycopodium, Nux vomica, Pulsatilla, Rhus toxicodendron, Sepia, Sulphur, Zincum metallicum
- ・ Incompatible : Nux vomica, コーヒー, タバコ

## Iodium ヨウ素 I<sub>2</sub> [甲状腺]

Iodine-I<sub>2</sub>

### BACK GROUND

Iodium は、原子番号 53、原子量 126.904473 のヨウ素です。融点 113.6℃、沸点 182.8℃、密度は 4.93g/cm<sup>3</sup>です。単体は二原子分子です。黒紫色の金属光沢のある板状結晶で昇華性があります。水にはほとんど溶けませんが、多くの有機溶媒に溶けます。とくにヨウ化カリウム水溶液のような I イオンが存在する水溶液にはよく溶けます。蒸気は多くの金属と反応し、有害ですがその一方、生物の生存にはなくてはならない必須元素です。ヨウ素の原料としては、天然ガスに随伴して出てくる地下かん水と、チリ硝石の原鉱石であるカリチエがあります。

ハロゲン族で塩素に次いで発見された元素であり、1812年に H.Courtois によって、海藻灰からつくられたソーダの中から発見されました。Iodine の名は、翌年にフランスの化学者 Gay Lussac により、その蒸気の色にちなんで（ギリシア語で ioeides すみれ色）命名されました。英名 Iodine、ドイツ名 Jod およびラテン名 Iodium などは、みなこれに由来しています。日本名のヨウ素は、そのまま音訳したものです。ヨウ素の用途としては、医薬品、シャンプー、白熱灯の封入ガス、写真感光剤、洗剤、除草剤、防カビ剤、肥料、研究用試薬、色素、鳥の飼料、医療用造影剤などがあります。

ヨウ素は、主に甲状腺に取り込まれ、甲状腺ホルモンであるサイロキシンの構成成分になります。ヨウ素の生理作用はサイロキシンの働きに直結しているので、新陳代謝やエネルギー産生の向上、成長作用に関係しています。体内のヨウ素の 2/3 は甲状腺の中に存

在しています。

日本のような海洋国では、海草、魚介類からヨードを容易に摂取することができますが、アメリカ、ヨーロッパ大陸などには簡単に摂取することができない国、地域が存在します。このような地域から来た患者さんは、Iodine の感受性が違ってきますので、重要なレメディの 1 つにあげられます。ヨードは、鉄やビタミン A の欠乏症とともに世界 3 大栄養素欠乏症の 1 つにあげられ、不足すると甲状腺腫や骨軟化症となり、倦怠感や機敏さを欠き、心身ともに不活発になります。子供では発育が遅れます。

Iodine の過剰は、一般的な代謝、リンパ系、各種腺組織、粘膜、漿膜、皮膚に影響を及ぼすことがわかっています。

### ■代謝

- ・ 甲状腺機能亢進症の症状が出ます。食欲亢進にもかかわらず体重減少、ふるえ、動悸、発汗、イライラ感、神経過敏、情緒不安定など（慢性化の場合は甲状腺機能低下症になります）。

### ■リンパ系

- ・ 痛みを伴わないアデノパシー

### ■各種腺

- ・ 甲状腺の肥大、嚢胞
- ・ 唾液腺の腫脹
- ・ 精巣肥大
- ・ 乳腺の萎縮
- ・ 右卵巣の嚢胞
- ・ 脾臓の嚢胞

### ■粘膜の刺激（とくに眼、呼吸器系、消化器系、生殖

器系)

- ・多量の流涙を伴う結膜炎, 弱視, 緑色視症, 角膜炎, 前房蓄膿, 虹彩毛様体炎, 水晶体の変性, 網膜出血, 神経炎の危険性, 眼筋麻痺, 虹彩または眼内の出血
- ・咽頭炎, 気管支炎, 声門浮腫, 肺炎, 肺水腫, 胎盤通過による新生児の呼吸不全
- ・口腔粘膜の潰瘍化, 悪心・嘔吐を伴う胃痛, 下痢, 強度の口渇, 腸仙痛, 上部消化管の壊死
- ・出血性腎炎, 乏尿, 無尿
- ・腔からの多量の刺激性分泌物

#### ■漿膜

- ・滑液囊腫
- ・胸膜炎
- ・膝の関節水腫

#### ■皮膚

- ・紅斑, じん麻疹, 瘡瘡様皮疹, 化膿性または出血性皮疹, 丘疹, 水疱
- ・痒痒感, 灼熱感

### FIRST PROVING

ハーネマン (『Chronic Diseases』初版). Iodium は, Natrum muriaticum と同様に海からのレメディです。

### MIND

Iodium タイプは, 通常やせていて, 眼が突出し, キラキラした感じがします。甲状腺やリンパ腺が腫脹していることもあります。顔色は, 青白いか黄色く, よくにきびができます。暑さに我慢できず, いつも涼しい所を好みます。明るい感じの服を好む傾向があります。

異化作用が亢進していますので, いつもお腹が空いています。やせの大食いです。一時食欲不振になっていることもあります。空腹時はイライラが激しくなり, 食後は少し満足します。おくびがよく出ます。

落ち着きがまったくなく, イライラしやすく, 心配症です。衝動的な行動をとることもあります。すぐに疲れてしまいます。疲れていても, ゆっくりと座っていることはせず, 常に何かをしようとします。じっとしていると心配だからです。激しい運動はできません。生理中はとくに疲れてしまいます。

### AFFINITY

Iodium は, とくに甲状腺に強い親和性をもっているほか, 腺 (精巣, 腸間膜静脈, 乳腺), 粘膜 (喉頭, 肺), 心臓, 血管, 皮膚, 神経系, 結合組織などにも作用します。

### CLINICAL APPLICATIONS

臨床では, 甲状腺機能亢進症の症状に似ている場合によく適用されます。

#### ■腺など

- ・甲状腺機能亢進症
- ・甲状腺腫
- ・生殖器の萎縮: 精巣, 卵巣, 乳腺, 乳首など。はじめは腫脹して, その後萎縮していきます。
- ・リンパ節腫脹

#### ■心呼吸器系

- ・激しい動悸: 暑さで悪化し, 涼しい環境で楽になります。心臓が手でギュッとつかまれたような感覚があります。少しの運動でも動悸が始まる場合があります。強い疲労感があります。
- ・アレルギー性鼻炎, 花粉症, 鼻感冒: 刺激性のある鼻みずが出ます。
- ・咽頭痙攣
- ・クループ: 乾いた痛みのある咳をします。長く続いた湿った気候の後に起こります。
- ・気管支炎, 肺炎: 咳は暖かい部屋や湿った気候, 仰向けに寝ると悪化する傾向があります。
- ・喘息

#### ■その他

- ・女性器: 刺激性のある帯下が出ます。生理中はさらに疲れます。
- ・やせ, 急激な体重減少: 食欲は異常にあります。眠っているときでさえ, 食べている夢を見ることがあります。
- ・過食症: やせています。食べることで満足します。
- ・各種囊胞
- ・口内炎: 多量の唾液分泌を伴います。強い口臭があります。歯肉は容易に出血します。
- ・滑液囊胞 (腫), 胸膜炎, 膝の関節水腫
- ・じん麻疹, にきび
- ・頭痛: きついバンドを頭に巻きつけられたような感じがします。鼻の付け根に痛みを感じることがあります。暖かい部屋で悪化します。
- ・疲労
- ・急性涙囊炎: 多量の流涙が出ます。
- ・眼瞼痙攣: とくに下瞼
- ・水頭症

### MODALITY

- ▶ 食事, 外気, 涼しい空気, 動き (すぐに疲れますが), 戸外の散歩など
- ◀ 暑さ, 太陽, 暖かい部屋, 階段の昇降, 絶食, 会話をすること, 右側, 海辺, 春, 秋など



## RELATIONS

- Antidoted by : Antimonium tartaricum, Apis, Arsenicum album, Belladonna, Camphora, China, Chininum sulphuricum, Coffea, Hepar sulphur, Opium, Phosphorus, Spongia, Sulphur, Gratiola
- Antidoted to : Mercurius, Arsenicum album, Argentum nitricum, Calcareo carbonica
- Complementary : Lycopodium, Silica, Badiaga
- Follows well : Arsenicum album, Hepar sulphur, Mercurius
- Followed well by : Aconite, Argentum nitricum, Calcareo carbonica, Mercurius, Phosphorus,

Pulsatilla, Kali bichromicum

## ●主なヨウ素のレメディ

Ammonium iodatum, Antimonium iodatum, Arsenicum iodatum, Aurum iodatum, Baryta iodata, Cadmium iodatum, Calcareo iodata, Cobaltum iodatum, Ferrum iodatum, Iodium purum, Iodium acidum, Iodium bromatum, Iodium muriaticum, Iodium purum, Iodoformum, Iodothyrium, Thryroiodinum, Kali iodatum, Lithium iodatum, Magnesia iodata, Manganum iodatum, Mercurius iodatus flavus, Mercurius iodatus ruber, Mercurius biniodatus cum kali iodatum, Natrum iodatum, Plumbum iodatum, Stannum iodatum, Strontium iodatum, Sulphur iodatum, Zincum iodatum

## Ipecacuanha 吐根 [激しい吐き気, きれいな舌, 鮮血, 咳]

Cephaelis ipecacuanha (Brot.) A.Rich

Callicocca ipecacuanha

## BACK GROUND

Ipecacuanhaは、南米（主にブラジル）の熱帯雨林に生育する、アカネ科の常緑低灌木の根からつくられます。高さは20～40cmで、根は地中を這って、節のような凹凸が多い数珠状の太い側根を出します（乾燥したものは径2～3mmで、表面は褐色）。



茎は四稜があり、短毛があります。葉は数が少なく2～3対生し、革質、楕円形または卵形をしています。花は白色で小さく、総苞の上に密集して咲きます。花

後、エンドウ大で暗紫色の2個の種子をもつ果実を結び、紅色から熟すと紫色になります。

Ipecacuanhaの語源はポルトガル語で、i-pe-kaaguen「道端の吐き気を催す植物」という意味に由来します。吐根として、一般医療で催吐剤やアメーバ赤痢の治療剤として用いられています。

Ipecacuanhaの根には、次のような有効成分が含まれています。

- イソキノリンアルカロイド：エメチン、セファエリン、サイコトリンなど
- タンニン、イペカクアニック酸：これらは止痢作用があります。
- イペカクアニン：鎮痙作用があります。
- その他：レジン、スターチ、シュウ酸カルシウムなど

イソキノリンアルカロイドの1つであるエメチンは、一般的な原形質毒として知られており、心筋、肝臓、腎臓、筋肉などに退行性変化を引き起こします。エメチンをはじめとする多種類のアルカロイド摂取によって、非常に強い吐き気を催し、嘔吐、下痢を起こし、直腸から鮮血が出ます。また、吐根の根の粉をわずかでも吸い込むと、呼吸器系の炎症と喘息のような症状になります。